

参考データ集

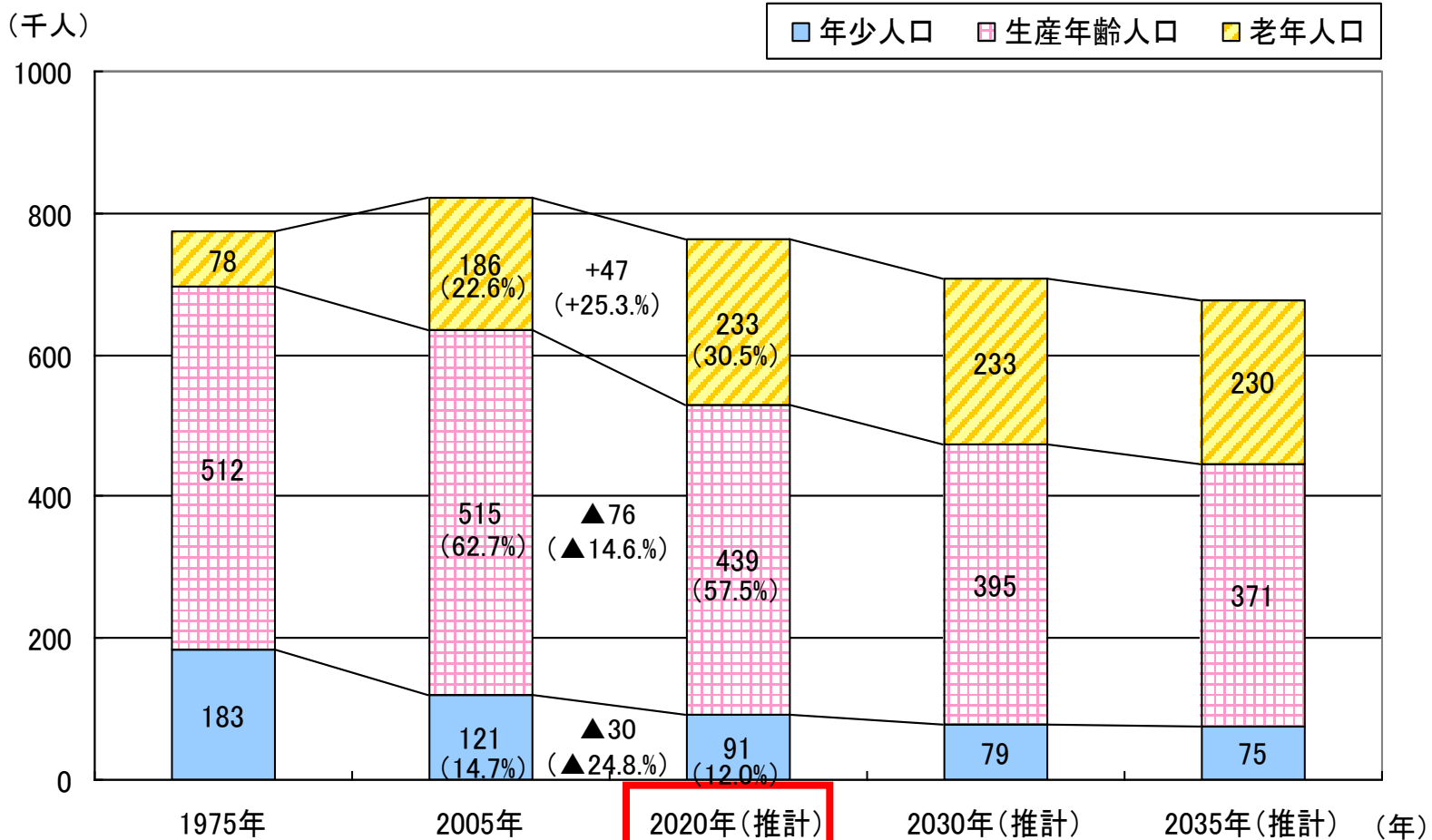
〔子育て・女性〕

22.7.22

福井県民の将来ビジョン
分野別意見交換会

福井の年齢別人口構成比

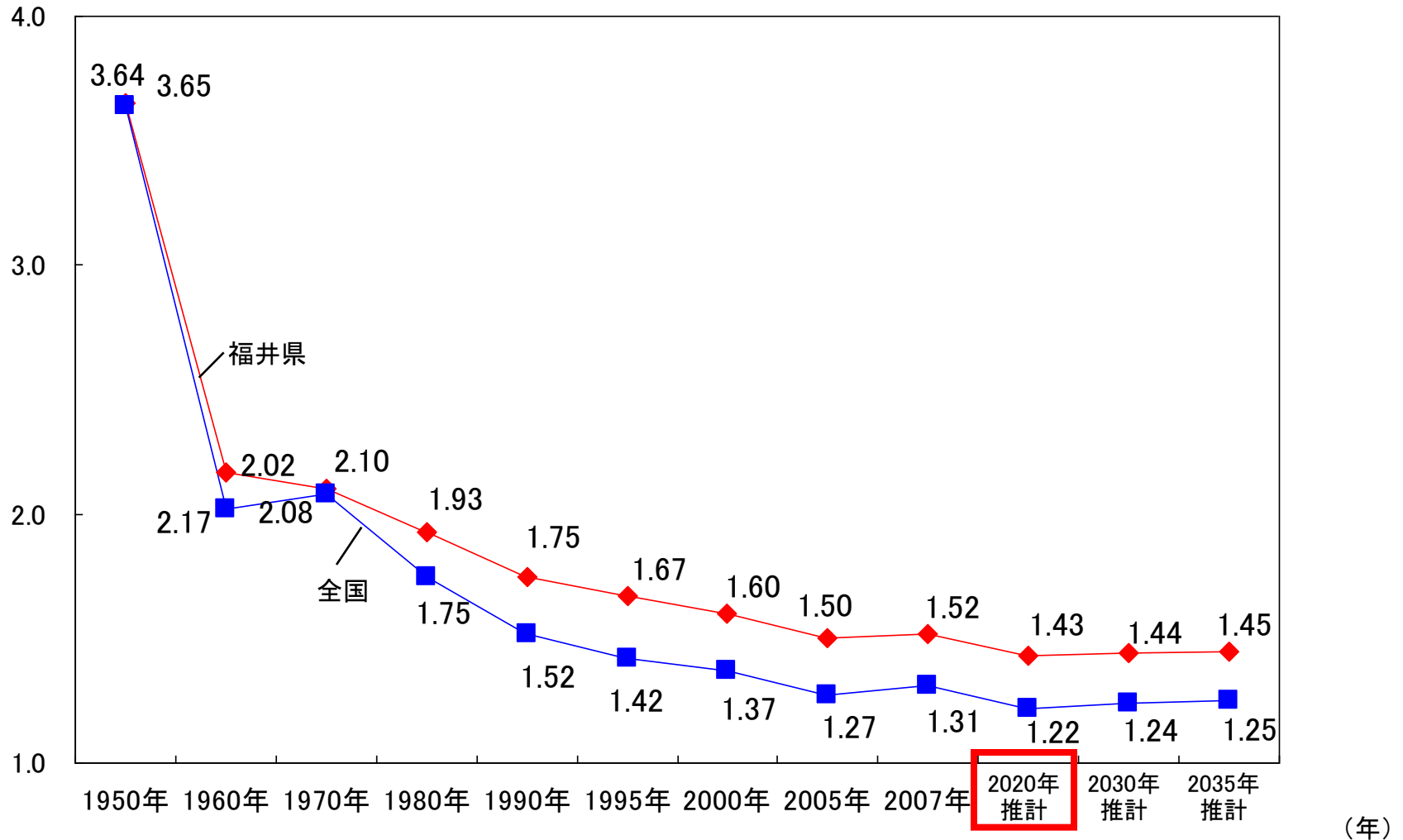
年少人口は、2020年には9万1千人と2005年に比べ3万人（24.8%）減少。
 65歳以上の老年人口は、2020年には23万3千人と4万7千人（25.3%）増加。約3人に1人が高齢者となる。さらに、生産年齢人口は、7万6千人（14.6%）減少。



出典：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「『日本の都道府県別将来推計人口』（平成19年5月推計）」

合計特殊出生率の推移と将来推計

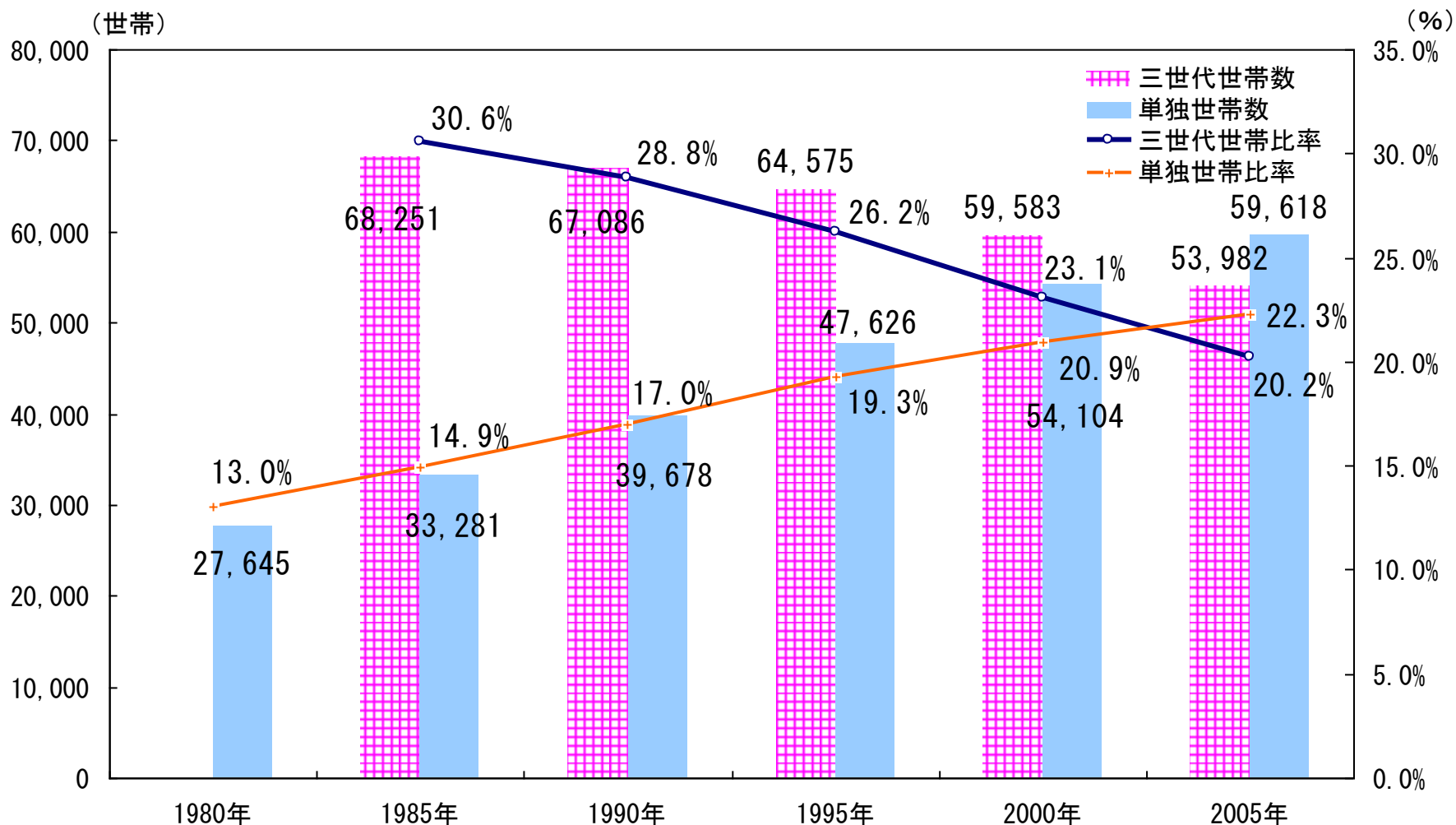
福井県の合計特殊出生率（1人の女性が一生の間に生む子どもの数）は、全国平均より高い水準で推移しているものの、低下傾向にある。



出典：国立社会保障・人口問題研究所「都道府県別合計特殊出生率」、「将来の合計特殊出生率」

福井県の三世代世帯数と単独世帯数の推移

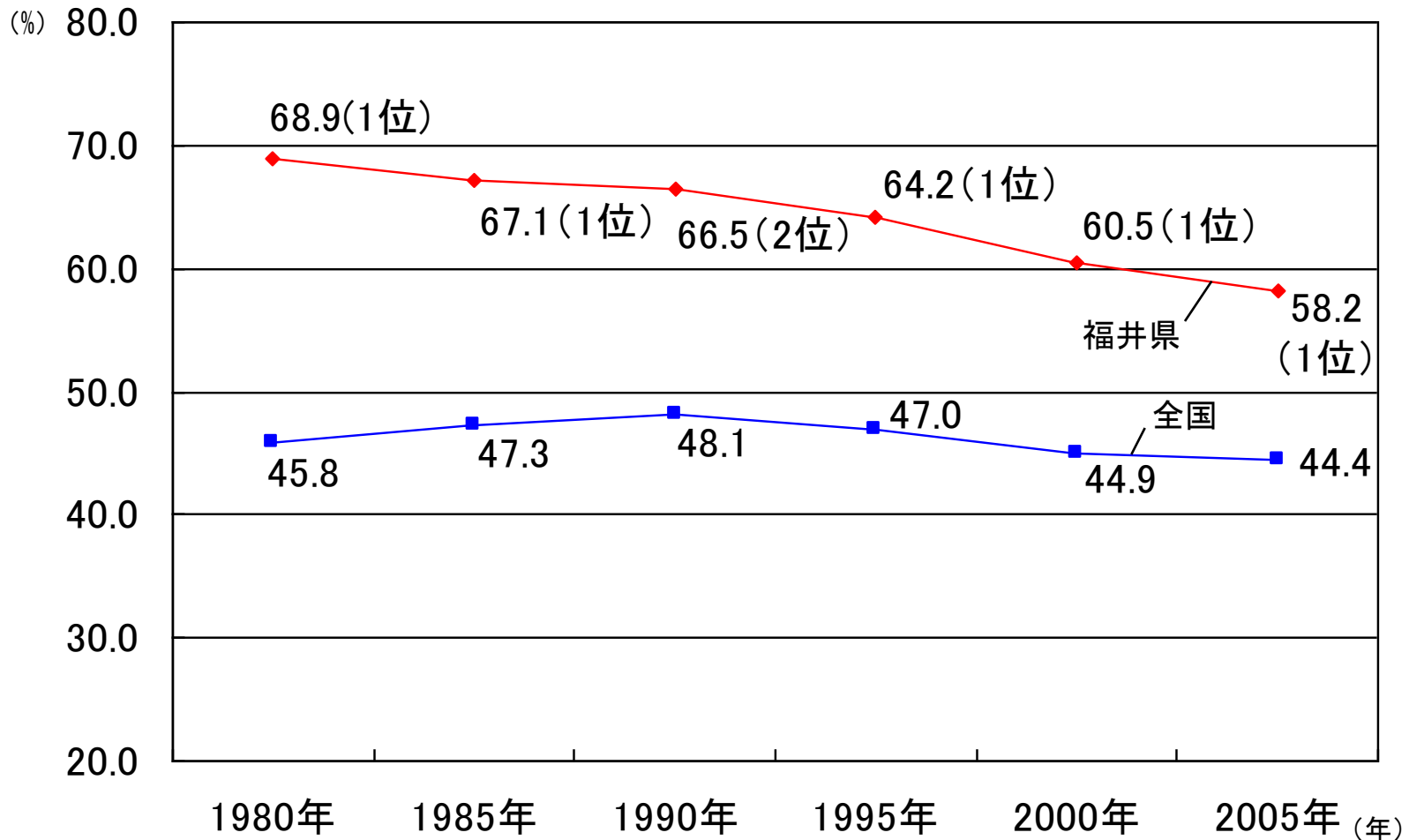
福井県の三世代世帯比率は、全国的に見れば高いものの年々減少。単独世帯が急速に増加。



出典：総務省「国勢調査」

福井県の共働き率

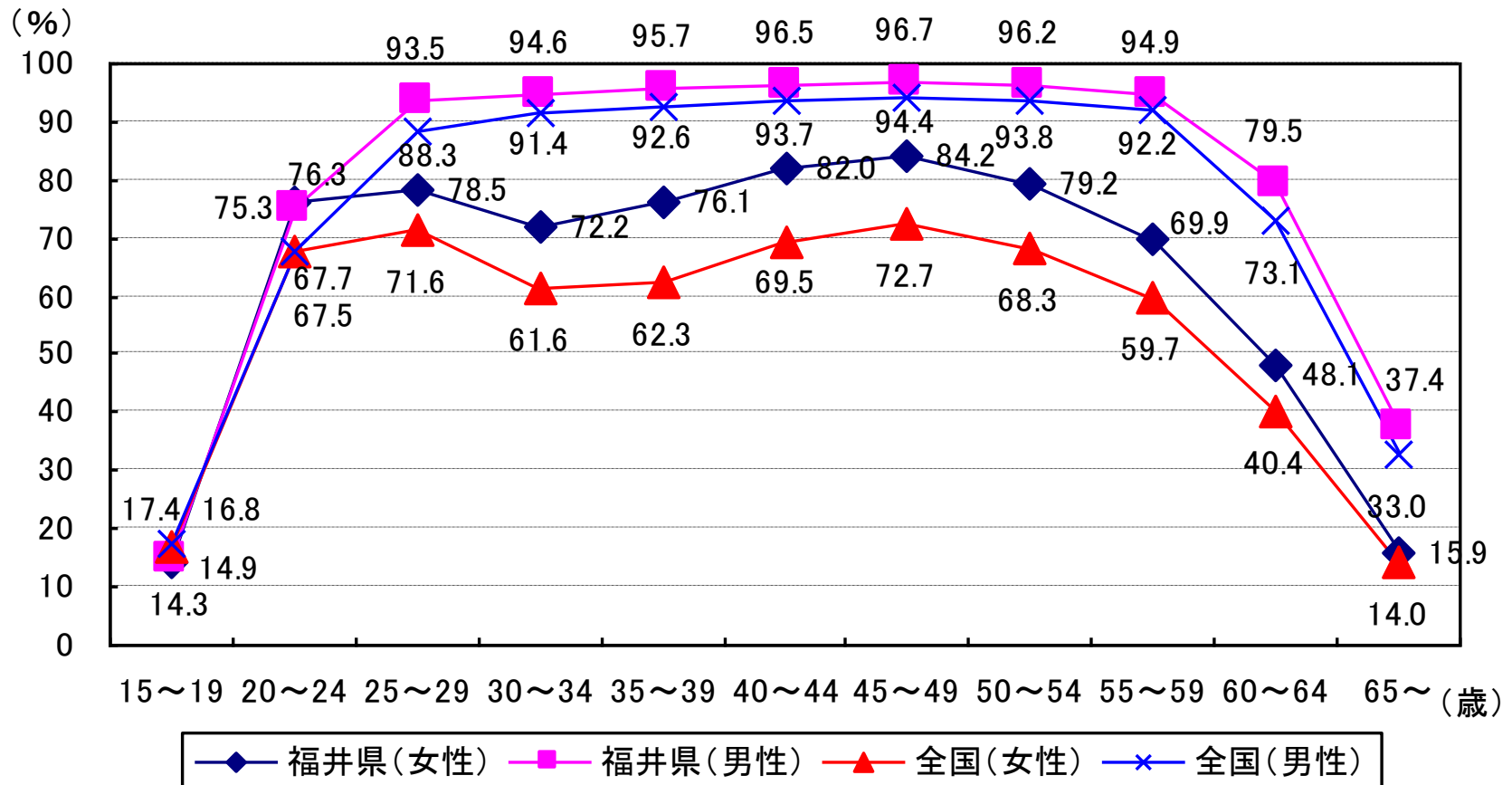
福井県の共働き率は、58.2%で全国第1位（2005年）である。
※共働き率：夫婦のいる一般世帯数に占める共働き世帯数の割合



出典：総務省「国勢調査報告」

福井県および全国の年齢別労働力率

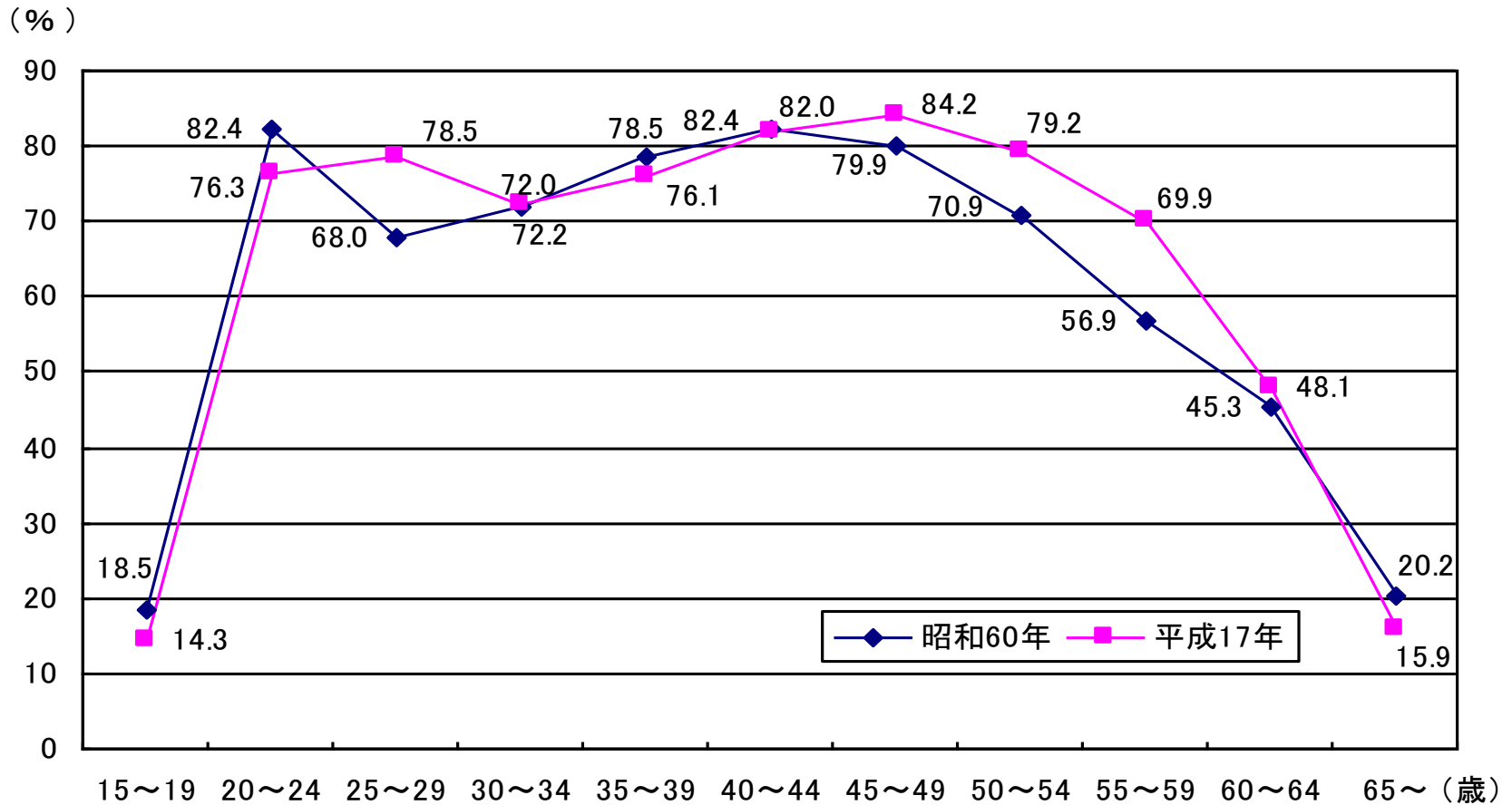
日本の女性の労働力率は、子育て期の30～34歳で一時的に減少。福井県の場合、労働力率の減少は、全国に比べて緩やかである。



出典：総務省「平成17年国勢調査」

福井県の女性の年齢別労働力率

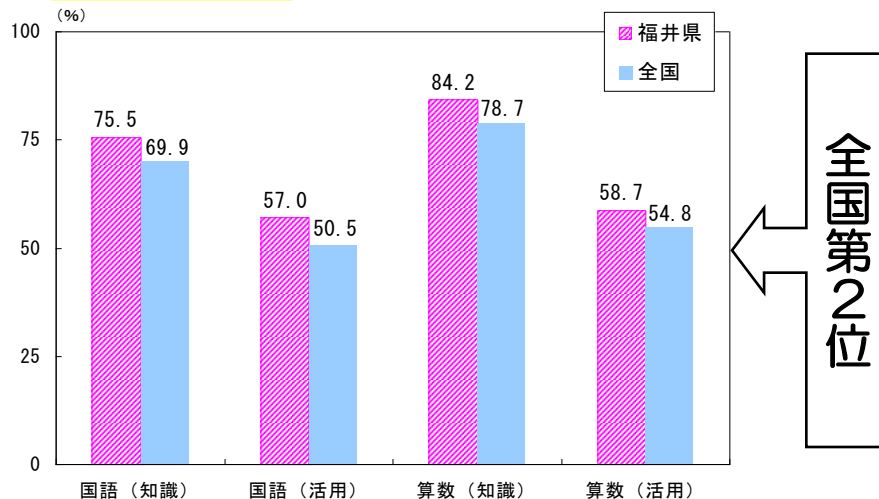
晩婚化、晩産化などの要因により、福井の女性の労働力率の減少期および上昇期の年齢が高くなっている。



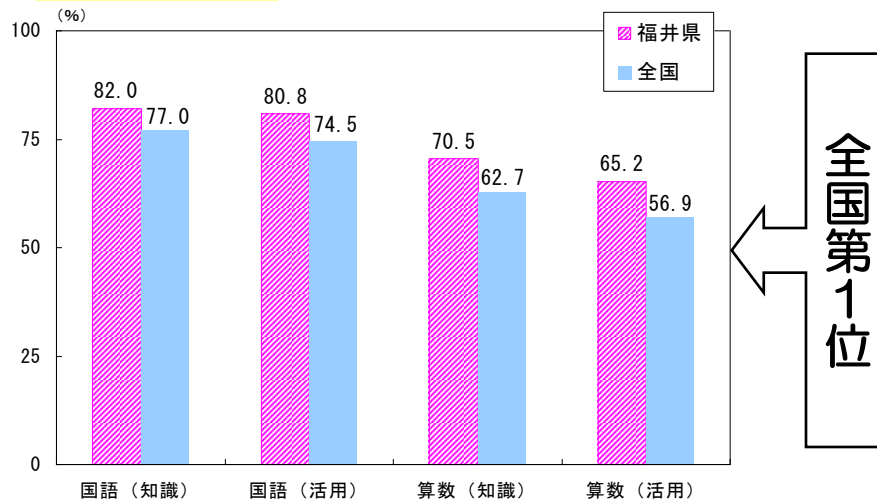
出典：総務省「国勢調査」

H21年度全国学力・学習状況調査における各教科別正答率

小学6年生

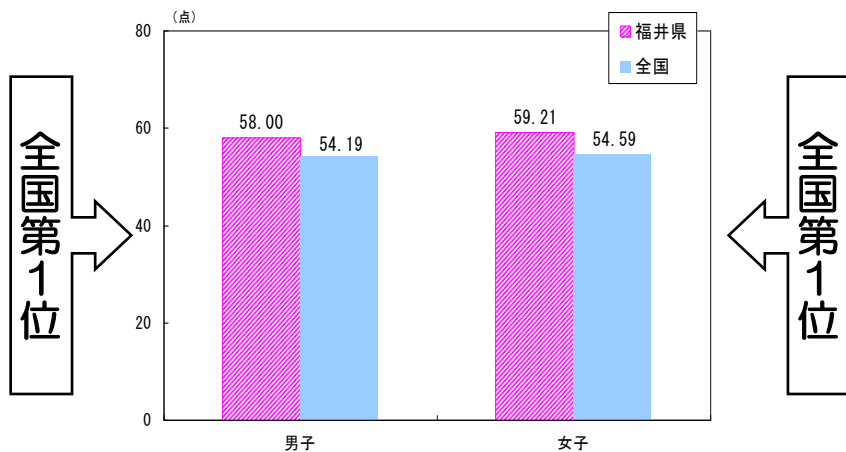


中学3年生

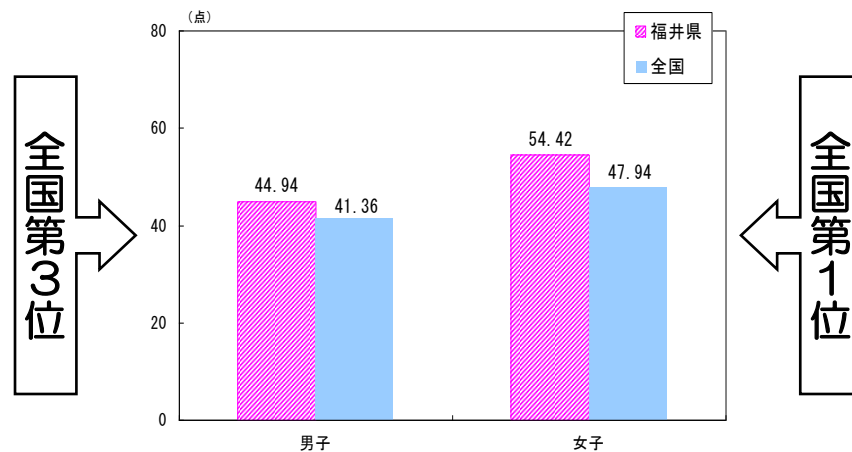


H20年度全国体力・運動能力、運動週間等調査における体力合計点

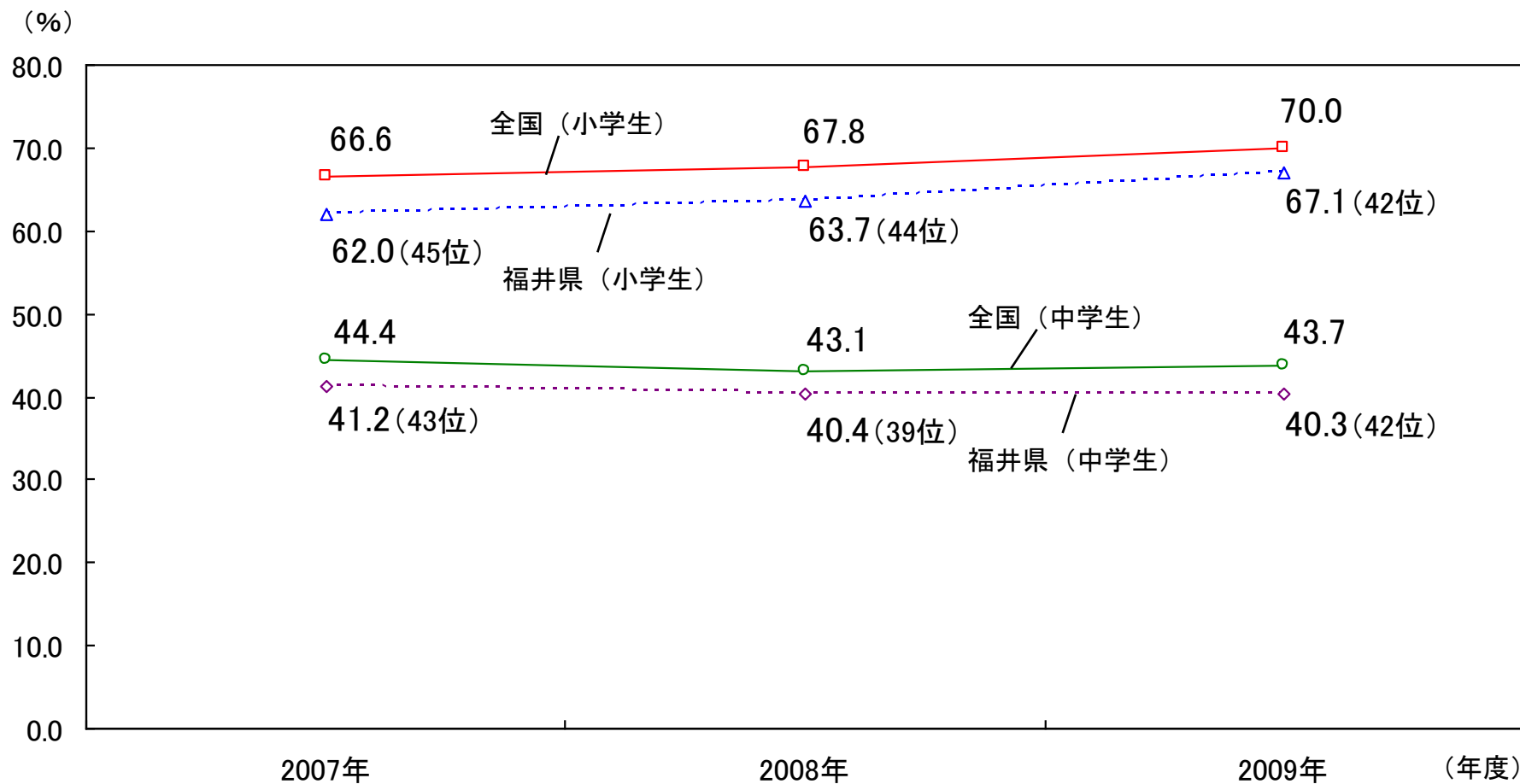
小学5年生



中学2年生



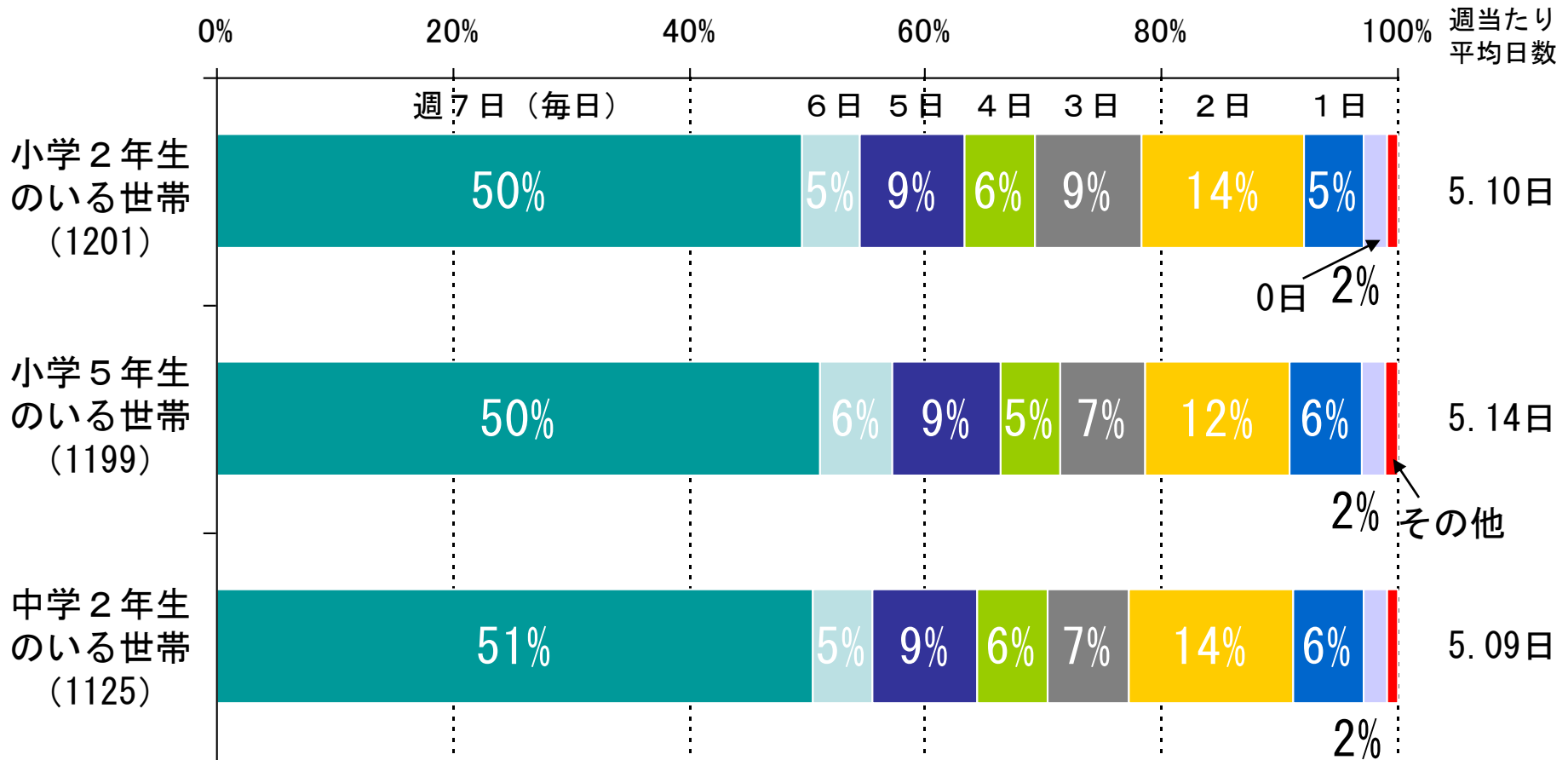
将来に夢や目標を持つ子どもの割合（小学生、中学生）



出典：全国学力・学習状況調査

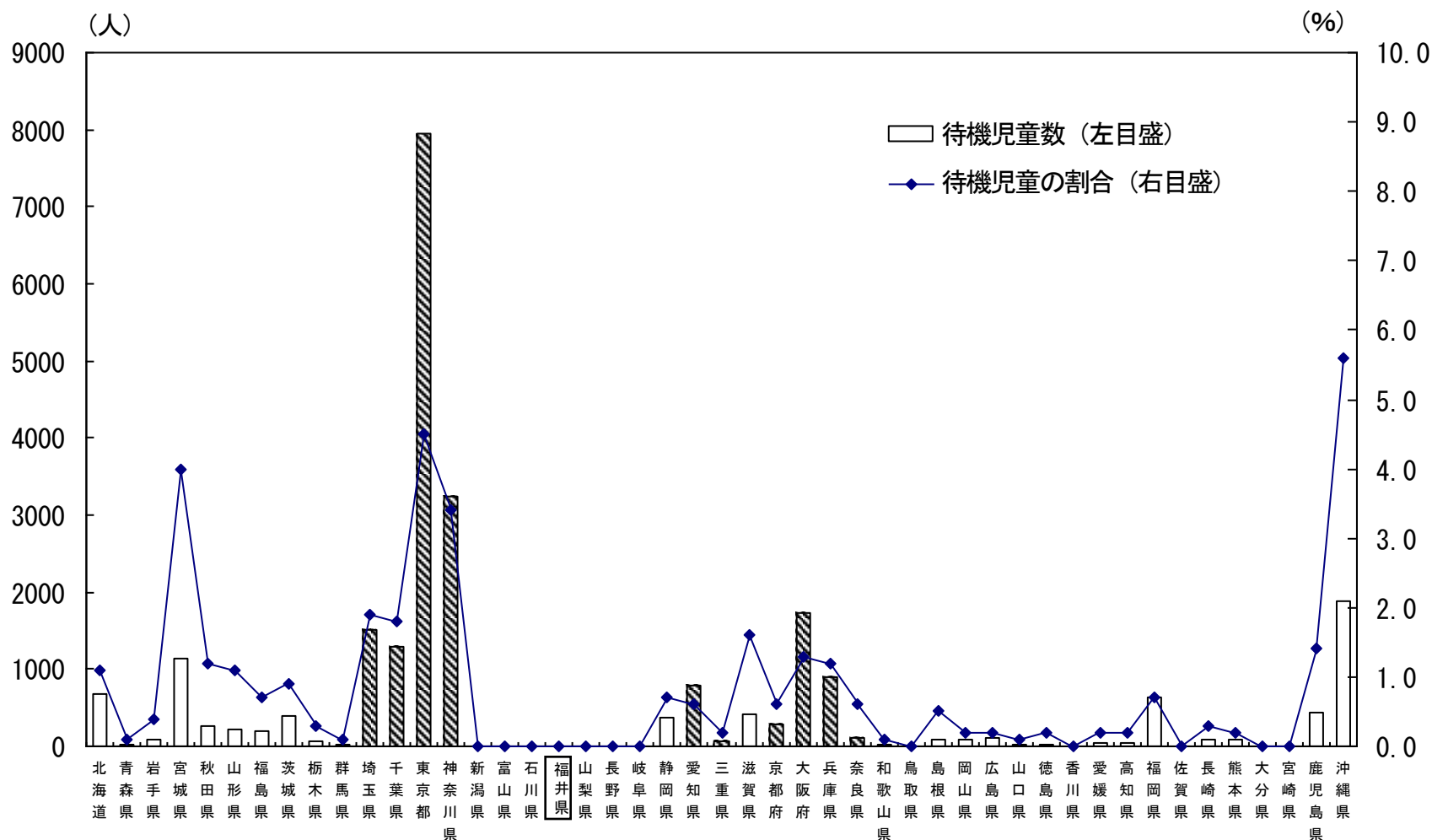
家族一緒に夕食を食べる子どもの割合（福井県）

50%の世帯で毎日子どもと保護者がそろって夕食をとっている。



出典：福井県「家族時間に関するアンケート調査」（2009年3月）

保育所待機児童数と待機児童の割合



出典：厚生労働省「保育所の状況（平成21年4月1日）等について」